

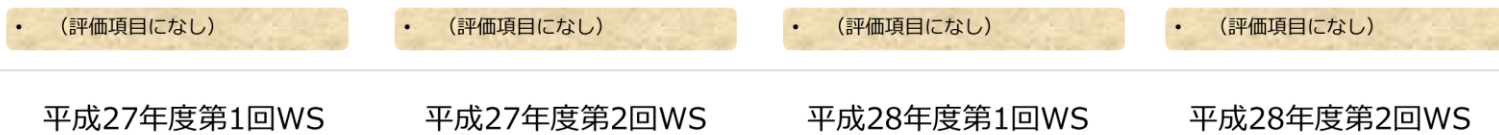
5. 各評価項目におけるステップアップの状況

1. 基本的項目

【当面の目標ライン】

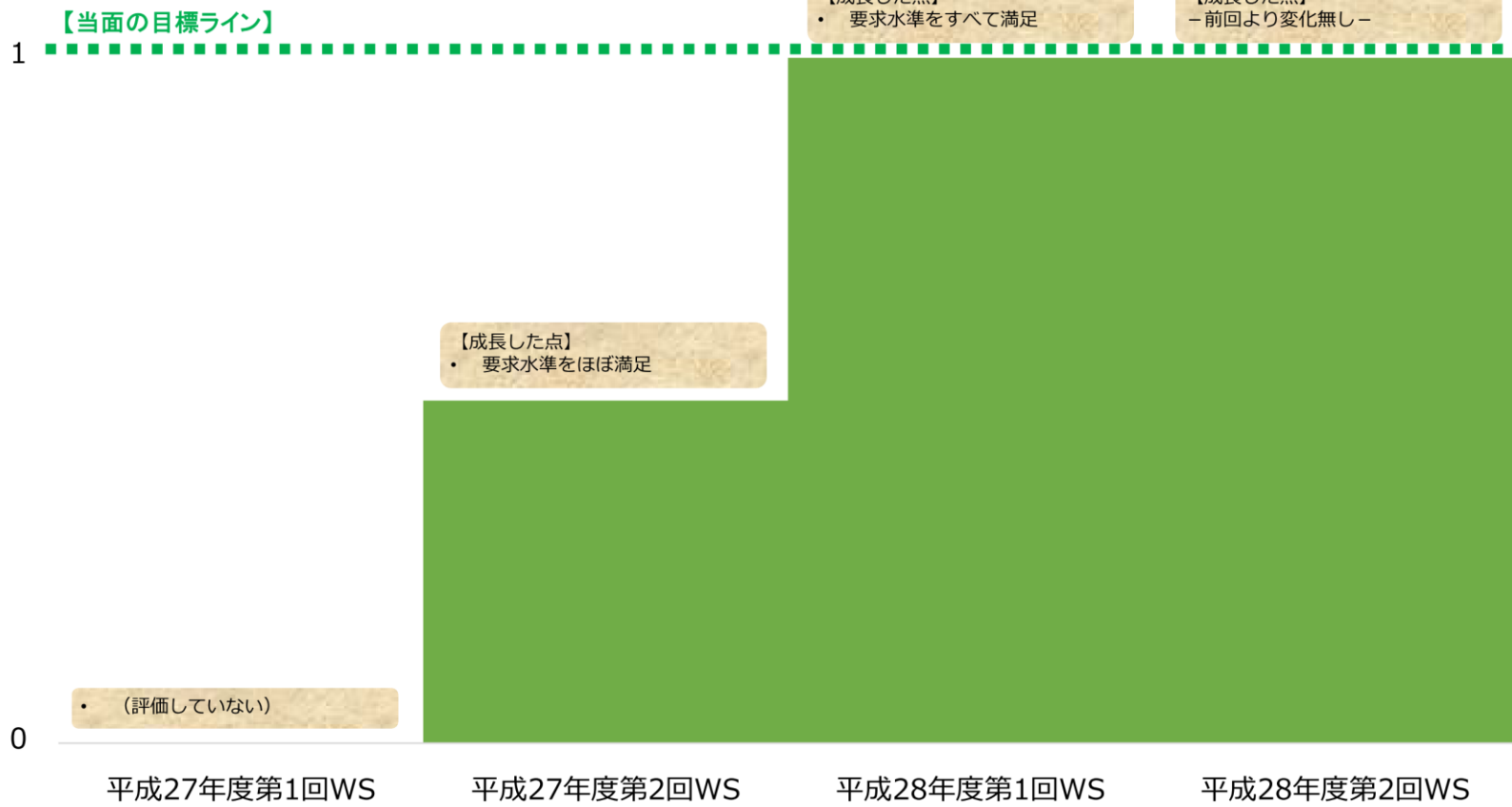
1

0



- ①水道の本来の役割としての水みらい広島のやるべき事、発注者（行政側出資団体）に求められていることを尊重し、理解した上で、その実現を目指しているかどうか。

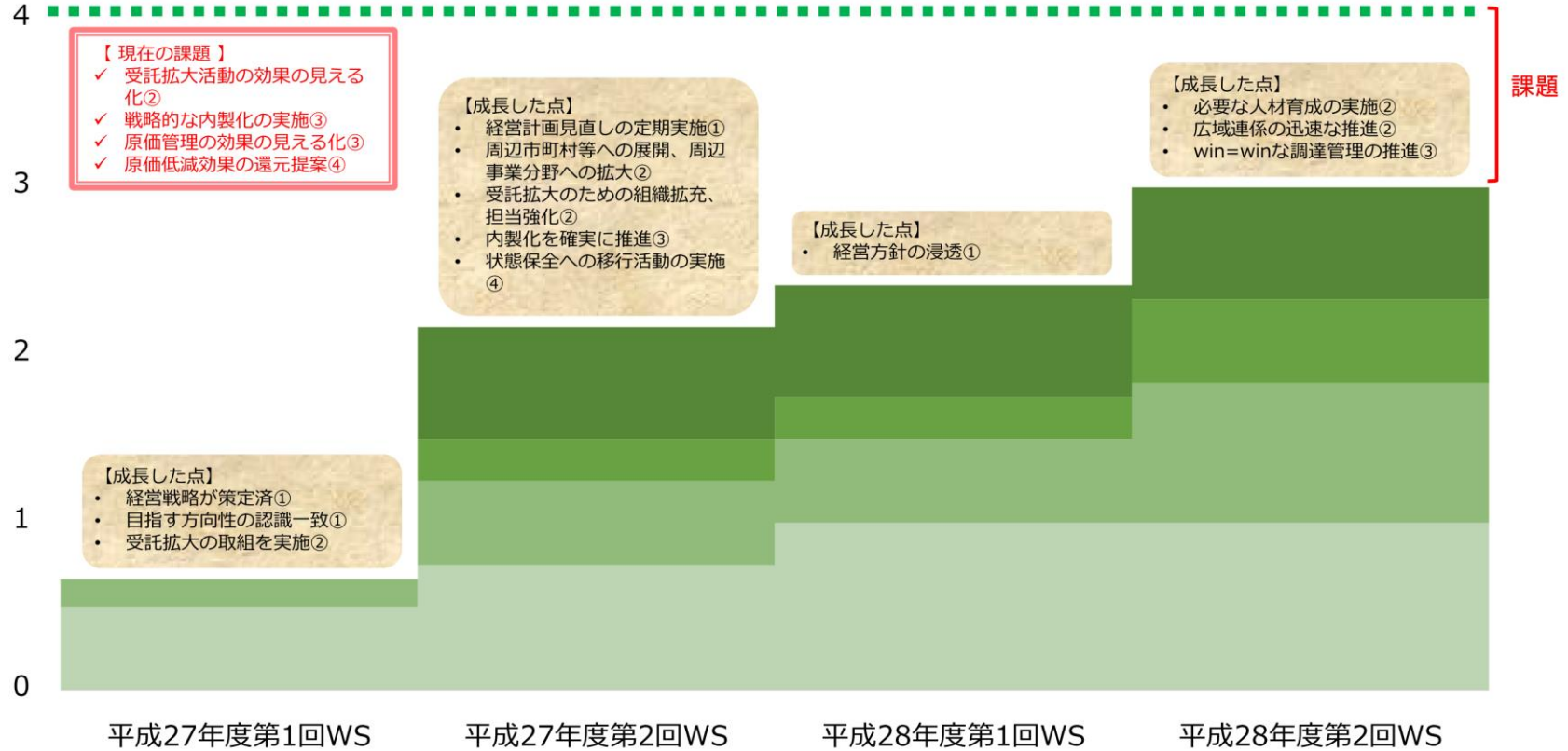
2. 水道の品質



■ ①水道の品質が、要求された水準を満たしているか

3. 経営

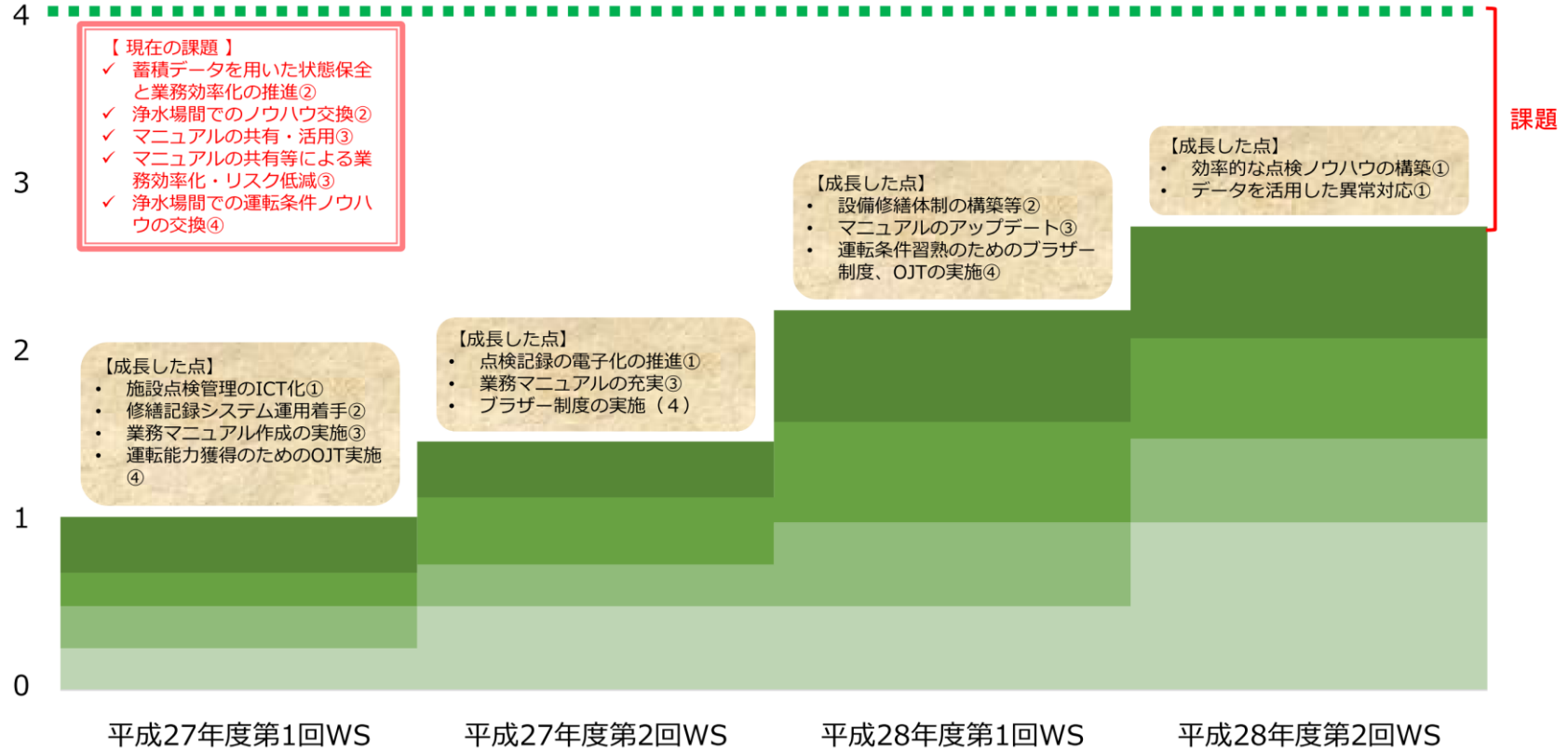
【当面の目標ライン】



- ④業務効率化に必要となる契約交渉を発注者（行政側出資団体）と継続的に実施しているか
- ③原価管理を適切に実施しているか
- ②水道事業の持続のための広域化の受け皿として受託拡大のための活動は継続的に実施されているか
- ①経営戦略が策定され、これが経営にあたって指針の役割を果たしているか

4. 維持運営

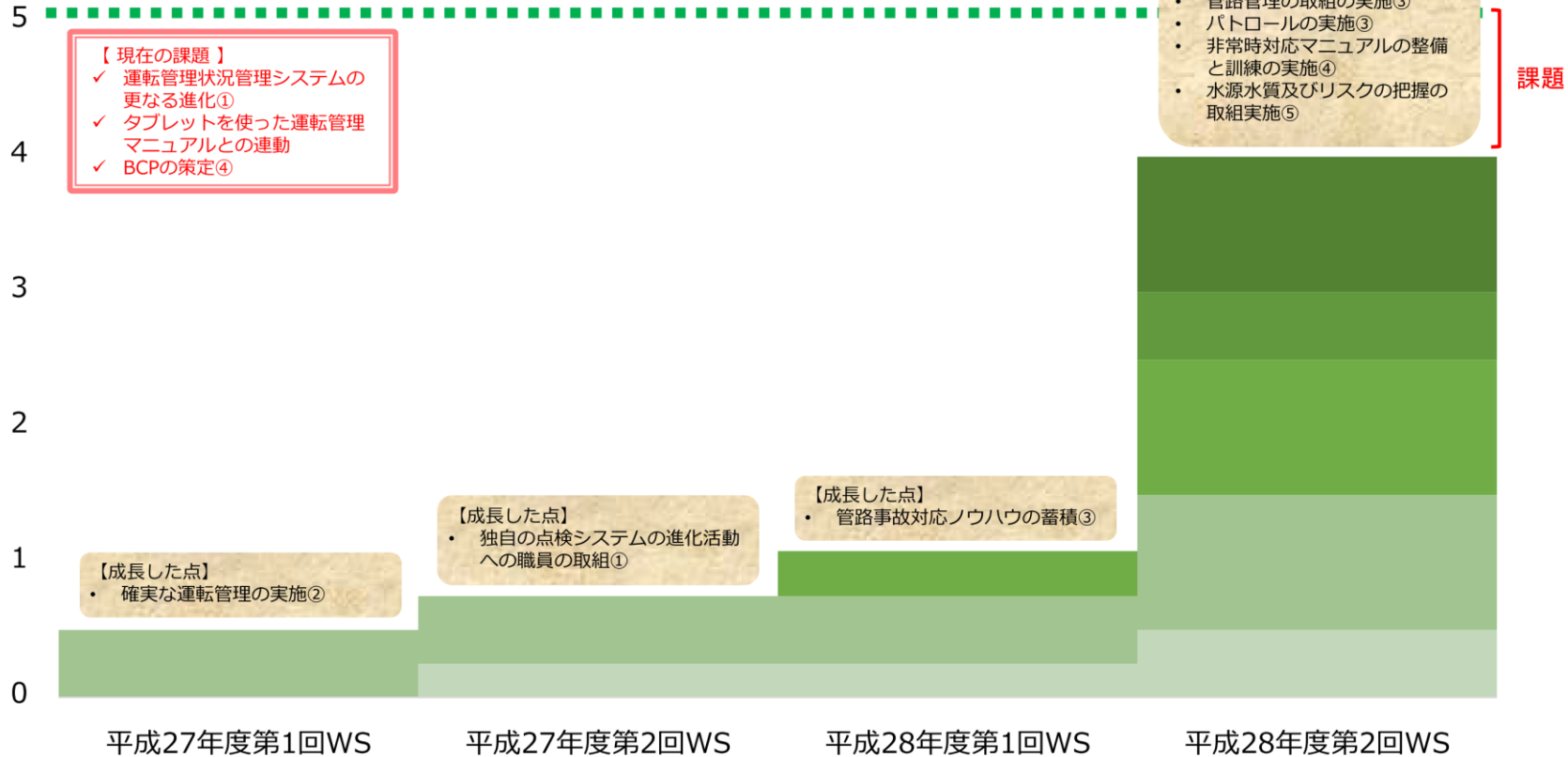
【当面の目標ライン】



- ④運転条件の確認と適切な運転が実現されているか
- ③作業手順書によるノウハウの共有、手順書の更新は継続的に実施されているか
- ②修繕の適切な実施とこれによる機器の延命化が図られているか
- ①日頃のメンテナンスの効率化にICT等を活用して推進しているか

5. リスクマネジメント

【当面の目標ライン】



- ⑤浄水場外、水源等のチェックをする体制を取っているか
- ④災害対応・非常時対応は計画的に準備されているか
- ③管路異常の事前検知を目的としたパトロールを含め管路事故への対応体制はできているか
- ②毎日の水質試験を技術者が確認することで確実な水質管理ができているか
- ①確実な運転管理の実施を通じて異常の早期検知ができているか

6. 連携

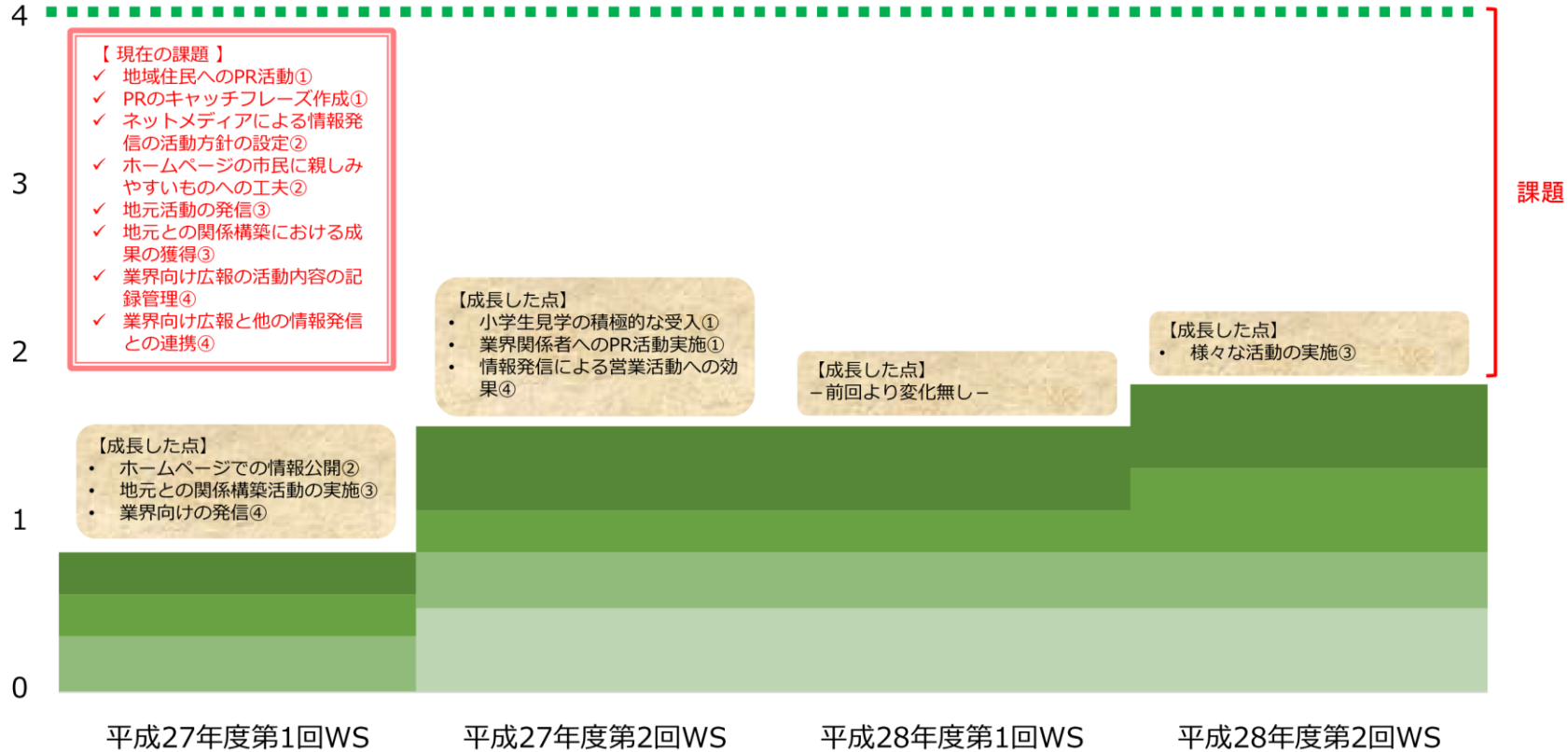
【当面の目標ライン】



- ①地元企業との連携を図っているか
- ②地元への雇用貢献に具体的に取り組んでいるか
- ③対受水団体、周辺自治体との関係構築は進めているか
- ④専門的な企業との連携等により業務の幅を広げているか
- ⑤発注者（行政側出資団体）との連携を十分にとれているか
- ⑥民間側出資団体との連携を中長期的な視点から進めているか

7. 発信

【当面の目標ライン】



- 【現在の課題】
- ✓ 地域住民へのPR活動①
 - ✓ PRのキャッチフレーズ作成①
 - ✓ ネットメディアによる情報発信の活動方針の設定②
 - ✓ ホームページの市民に親しみやすいものへの工夫②
 - ✓ 地元活動の発信③
 - ✓ 地元との関係構築における成果の獲得③
 - ✓ 業界向け広報の活動内容の記録管理④
 - ✓ 業界向け広報と他の情報発信との連携④

- 【成長した点】
- ・ ホームページでの情報公開②
 - ・ 地元との関係構築活動の実施③
 - ・ 業界向けの発信④

- 【成長した点】
- ・ 小学生見学の積極的な受入①
 - ・ 業界関係者へのPR活動実施①
 - ・ 情報発信による営業活動への効果④

- 【成長した点】
- 前回より変化無し -

- 【成長した点】
- ・ 様々な活動の実施③

- ④業界向け広報を着実に実施し成果につなげているか
- ③地元活動を着実に実施することで成果を上げているか
- ②ネットメディアを利用した情報公開を積極的に実施しているか
- ①水みらい広島の信頼の実現のためのPRを実施しているか

8. 人材

【当面の目標ライン】



平成27年度第1回WS

平成27年度第2回WS

平成28年度第1回WS

平成28年度第2回WS

- ⑥受託業務や受託先を増やせるような営業力のある人材の育成を図っているか
- ⑤国際展開までできるような創意工夫のできる人材を育成しているか
- ④目標管理制度を適切に活用することで業務効率を高めているか
- ③教育研修を確実に実施し成果をあげているか
- ②職員の待遇が成果や能力に対して公平に定められているか
- ①採用の工夫を行い適切な職場環境の構築に努めているか